

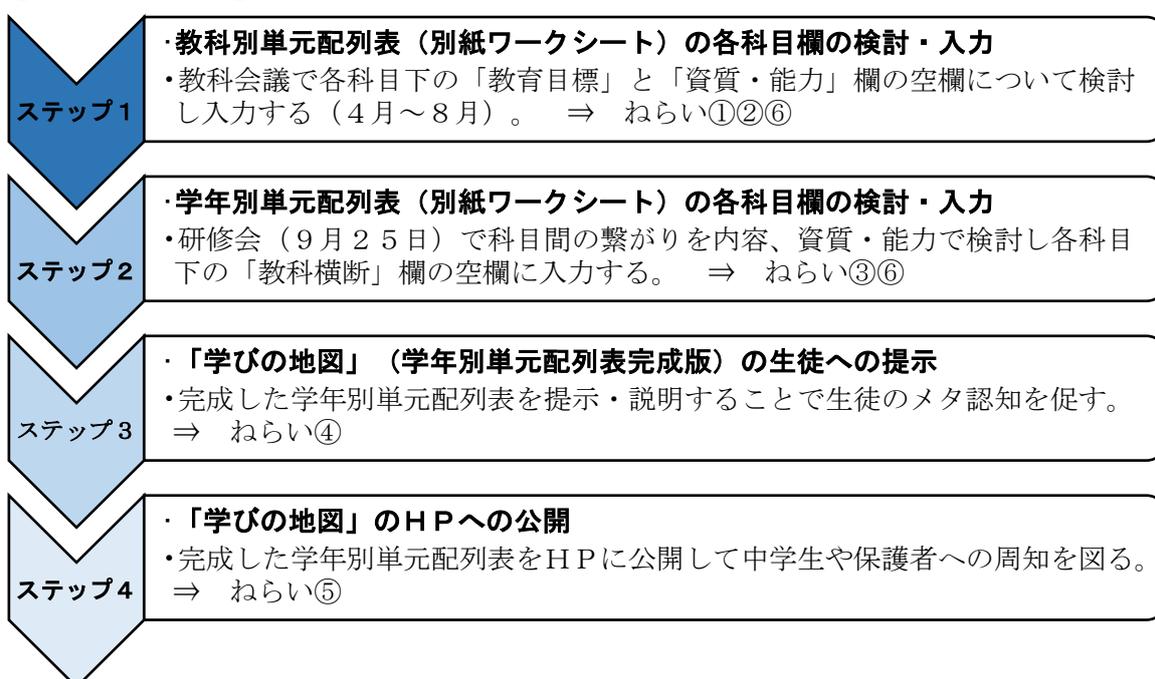
令和2年度カリキュラム・マネジメント実施計画について（案）

1 単元配列表の作成

【作成のねらい】

- ①教育目標の実現ができそうな単元を各科目の計画に位置づけ学習指導・活動の指標とする。
- ②資質・能力の育成を促せる単元を各科目の計画に位置づけ学習指導・活動の指標とする。
- ③教科横断的指導・学習が可能な教科・科目間のつながりを見出し指導・活動の指標とする。
- ④完成した単元配列表を「学びの地図」として生徒に提示しメタ認知能力の育成に活用する。
- ⑤完成した単元配列表を「学びの地図」としてHPに公開し本校教育活動の周知に資する。
- ⑥新教育課程（令和4年度実施）作成のための検討資料として活用する。

【作成・公開の過程】



2 授業研究会の実施

目的	①教育目標の実現や資質・能力の育成に効果的な授業について研修・研究する。 ②新教育課程で重視される教科横断的指導の内容・方法について意見交流する。 ③教室環境の整備に伴い新教材・教具を活用した授業について研修・研究する。 ④AL型授業（インプットとアウトプットのバランス調整）について研修する。 ⑤「深い学び」や「メタ認知」「自己調整学習」に繋がる実践について研修する
日時	11月9日（月） 4限～6限に3つの研究授業を実施し、全員最低一時間は参観する。 7限に全員参加の授業研究会（視聴覚室、全体での審議）を実施する。 ※ 当日は部活動、再試等は停止し、6限終了後に掃除・SHRで放課とする。
授業者	文系、理系の授業を各一時間、教科横断型授業を一時間で複数実施する。
準備等	①時間割編成、参観者の割り振り、参観資料の作成・印刷・配布、授業デザイン等の作成 ②研究授業（記録）、授業研究会（司会、記録）の役割分担 ③外部への案内、教育委員会への報告

